

橋梁保全技術研修・判定試験・ 資格登録・登録更新のご案内

2026 年度
(令和 8 年度)

ニュー・ブリッジは、全国で更新に伴い撤去された橋梁の部材を再利用して構築した、
原寸サイズの研修・研究施設です。臨床的な橋梁維持管理技術を学ぶことができます。

【重要】 検査点検コースの受講資格変更について

今年度より、橋梁保全技術研修（常設研修） 検査点検コースの受講資格を変更しま
す。（基礎コース、診断評価コースの受講資格に変更はありません。）

詳細は、橋梁長寿命化推進室の WEB サイトに掲載される「2026 年度 橋梁保全技
術研修 検査点検コース 受講者募集のご案内」をご確認ください。

目次

1. 橋梁保全技術研修(常設研修)	P.2
2. 判定試験	P.4
3. 新規登録申請	P.5
4. 登録更新	P.5
5. オーダーメイド研修、見学、施設使用	P.6

<問い合わせ先>

国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

☎ 052-789-3726

🌐 <https://n2u-bridge.jp/>

✉ N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp



橋梁長寿命化推進室 WEB サイト

<https://n2u-bridge.jp/>

1. 橋梁保全技術研修(常設研修)

コース名	研修の概要
(1)基礎コース	橋梁維持管理の基礎知識が学べるコースです。橋梁維持管理の知識を持たない方や実務経験の無い方でも受講できます。
(2)検査点検コース	「国土交通省橋梁定期点検要領」に基づく点検実務、詳細調査および劣化機構の推定について、ニュー・ブリッジを使用して学習できるコースです。
(3)診断評価コース	橋梁の劣化予測、性能評価および補修・補強対策について学習できるコースです。

<各コースの共通事項>

- ①研修は名古屋大学東山キャンパスで実施します。
- ②研修の修了者には名古屋大学より「修了証」が発行されます。判定試験の受験資格に必要な「修了証」の有効期間は発行日から3年間です。(基礎コース除く。) ※「2.(3)受験資格」参照
- ③土木学会認定のCPDプログラムです。
- ④プログラム、開催日時、定員は都合により変更する場合があります。
- ⑤受講申込等の詳細については、WEBサイトに掲載される各コースの「受講者募集のご案内」をご確認ください。(募集案内公開予定：基礎コース7月上旬、検査点検コース3月中旬、診断評価コース4月上旬)

<各コースの研修内容>

(1)基礎コース ※募集案内公開予定：7月上旬

①プログラム(2日間)

プログラム		形態
1日目	日本の橋梁の現状、橋梁構造の概説、橋梁点検の重要性、維持管理の流れ	座学
2日目	点検手法・非破壊検査機器の原理、橋梁の変状	座学
	実橋の劣化 点検機器の計測実習	ニュー・ブリッジ見学 ニュー・ブリッジ実習

②開催期日、定員

	期日	定員
第29回	2026年9月17日(木)、18日(金)	約30名
第30回	2026年11月5日(木)、6日(金)	約30名

③受講料 15,000円(税込)

(2) 検査点検コース ※募集案内公開予定：3月中旬

①プログラム(3日間)

プログラム		形態
1日目	日本の橋梁の現状、基準の変遷、変状の概説、劣化機構の推定(鋼部材)	座学
2日目	劣化機構の推定(コンクリート部材)、維持管理の流れ、点検手法(非破壊検査)、国土交通省定期点検要領・点検調書の解説、点検の着目点	座学
	実橋の劣化	ニュー・ブリッジ見学
3日目	ケーススタディ(劣化機構の推定) 実橋の点検実習(損傷図作成、非破壊検査実習)	座学 ニュー・ブリッジ実習

※実務経験年数等の受講資格が必要です。詳細はWEBサイトにてご確認ください。

②開催期日、定員

	期日	定員
第66回	2026年5月13日(水)～15日(金)	約27名
第67回	2026年6月10日(水)～12日(金)	約27名
第68回	2026年7月8日(水)～10日(金)	約27名
第69回	2026年7月29日(水)～31日(金)	約27名
第70回	2026年12月9日(水)～11日(金)	約27名

※第70回検査点検コース修了者は、翌年度(2027年度)の橋梁点検士判定試験から受験可能となります。

③受講料 30,000円(税込)

(3) 診断評価コース ※募集案内公開予定：4月上旬

①プログラム(2日間)

プログラム		形態
1日目	診断の重要性と技術者倫理、構造物の診断(評価・判定)、劣化予測～性能評価～判定(RC橋・PC橋、鋼橋)	座学
	実橋の劣化(希望者のみ)	ニュー・ブリッジ見学
2日目	対策(鋼橋、RC橋・PC橋) ケーススタディ(道路橋の維持管理全般(橋梁構造物全般、鋼橋の診断の実際とその留意点))	座学

※実務経験年数等の受講資格が必要です。詳細はWEBサイトにてご確認ください。

なお、**当室の「橋梁点検士」に登録されている方も受講可能です。**

※事前課題があります。

②開催期日、定員

	期日	定員
第13回	2026年7月2日(木)、3日(金)	約30名

③受講料 20,000円(税込)

2. 橋梁点検士および橋梁診断士 判定試験

(1) 試験の目的

橋梁維持管理の知識・技術の保有レベルを確認するための試験で、橋梁の維持管理に関する知識を有する技術者の育成を通じて社会に貢献することを目的としています。

(2) 試験の種類

- ・ 橋梁点検士判定試験：検査点検コースの修了者対象。合格者には国立大学法人東海国立大学機構より、橋梁点検士の合格証を発行します。
- ・ 橋梁診断士判定試験：診断評価コースの修了者対象。合格者には国立大学法人東海国立大学機構より、橋梁診断士の合格証を発行します。

(3) 受験資格

次の表に該当する修了証を保有している方が対象です。（既合格者を除く）

2026年度 橋梁点検士判定試験の受験対象となる回

コース名	回	修了証交付日	判定試験受験可能年度
検査点検 コース	第55回	2023年 12月 15日	2026年度判定試験まで受験可能
	第56回	2024年 5月 17日	
	第57回	6月 21日	
	第58回	7月 19日	
	第59回	8月 2日	
	第60回	12月 13日	2027年度判定試験まで受験可能
	第61回	2025年 5月 16日	
	第62回	6月 13日	
	第63回	7月 18日	
	第64回	8月 1日	
	第65回	12月 12日	2028年度判定試験まで受験可能
	第66回	2026年 5月 15日（予定）	
第67回	6月 12日（予定）		
第68回	7月 10日（予定）		
第69回	7月 31日（予定）		

2026年度 橋梁診断士判定試験の受験対象となる回

コース名	回	修了証交付日	判定試験受験可能年度
診断評価 コース	第11回	2024年 7月 5日	2026年度判定試験まで受験可能
	第12回	2025年 7月 4日	2027年度判定試験まで受験可能
	第13回	2026年 7月 3日（予定）	2028年度判定試験まで受験可能

(4) 試験実施日、会場

試験日：2026年9月27日（日）（予備日：2026年10月3日（土））

会場：名古屋大学東山キャンパス

- ・ 試験日は都合により変更する場合があります。
- ・ 荒天等により開催中止になった場合、予備日に振替します。
- ・ 第70回検査点検コース修了者は、翌年度（2027年度）から受験が可能です。

(5) 受験料

橋梁点検士受験料 10,000円（税込）、橋梁診断士受験料 25,000円（税込）

判定試験の詳細は、WEBサイトの「判定試験のご案内」をご確認ください。（7月上旬掲載予定）

3. 橋梁点検士および橋梁診断士 新規登録申請

(1) 登録の目的

橋梁の点検・診断の業務にかかわる技術者の技術力を判定し登録することおよびその活用が図られることにより、橋梁の点検・診断にかかわる業務を円滑かつ適正に遂行し、業務の技術水準の向上と点検・診断にかかわる技術者の社会的認知と地位向上を図ることを目的としています。

(2) 登録要件

橋梁点検士の登録は橋梁点検士判定試験の合格者、橋梁診断士の登録は橋梁診断士判定試験の合格者が、橋梁長寿命化推進室に登録申請を行うことが必要となります。

なお、各判定試験の合格翌年度から3年度以上を経過して登録を行おうとする場合は、登録更新講習の受講が必要となります。(※「4. 橋梁点検士および橋梁診断士 登録更新」参照)

(3) 登録有効期間と登録申請時期

登録有効期間は、合格の翌年度4月1日から4年間です。登録を更新するためには、登録有効最終年度に更新講習を修了する必要があります。

登録申請は判定試験合格年度を含む4年間、任意の年に行うことができます。ただし、登録有効期限は合格の翌年度4月1日から4年間です。(申請年度からの起算ではありません。)

(4) 登録申請受付期間 ※登録期間、手続き方法は都合により変更する場合があります。

合格年度	資料請求 (オンライン)	申請書類提出期限 (郵送)
2026年度合格者	合格証送付時に申請書類を同封するため不要	2027年1月29日(金)
2023～2025年度合格者	2026年10月22日(木) ～30日(金)	
2022年度以前の合格者	登録更新講習の受講が必要となります。 ※「4. 橋梁点検士および橋梁診断士 登録更新」参照	

(4) 登録料 5,000円(税込)

新規登録申請の詳細は、WEBサイトの「登録の手引き」をご確認ください。(10月上旬掲載予定)

4. 橋梁点検士および橋梁診断士 登録更新

(1) 登録更新の目的

登録更新講習によって、橋梁の点検・診断に関する最新の知見の習得を行い、橋梁の点検・診断に必要な知識・技術の維持向上を図ることを目的としています。

(2) 更新講習の受講対象

橋梁点検士または橋梁診断士に登録し「登録有効期限が2027年3月31日」(登録有効最終年度)の方が登録を更新するためには、更新講習受講が必要となります。申込方

法等は、6月下旬までにご本人に通知予定です。

他に登録有効期限切れで再登録を希望する方、または合格翌年度から3年度以上を経過して新規登録を希望する方も更新講習の受講が必要です(下表参照)。申込方法等は、6月下旬にWEBサイトにて公開予定です。

2026年度 橋梁点検士・橋梁診断士 登録更新講習受講対象者

区分	対象者	登録証有効期限
登録更新	登録有効最終年度の方	2027年3月31日
再登録	登録有効期限切れの方	2026年3月31日以前
新規登録	合格翌年度から3年度以上経過しており新規登録を希望する方	未登録(以下期間の判定試験合格者) 橋梁点検士：2013年度～2022年度 橋梁診断士：2016年度～2022年度

(3)登録更新講習 ※期間、手続き方法は都合により変更する場合があります。

以下の期間内に、e-ラーニングを受講のうえ、小論文を提出してください。

	期 間
登録更新講習 (e-ラーニング、小論文)	2026年10月14日(水)～11月16日(月)

橋梁点検士と橋梁診断士の講習内容、小論文の課題はそれぞれ異なります。両資格の更新を同一年度に行う方は、受講期間内に両方の更新講習を修了してください。

(4)登録更新料 17,000円(税込)(更新講習料：12,000円、登録料：5,000円)

詳細は、WEBサイトの「登録更新のご案内」をご確認ください。(6月下旬掲載予定)

5. オーダーメイド研修、見学、施設使用

オーダーメイド(OM)研修は、団体(行政・民間・業界団体・学会など)を対象とした、ニュー・ブリッジでの実習が主体の有料研修です。見学ならびに施設使用は無料ですが、施設使用には審査を要します。

受付は随時行っております。実施日は他の研修等と調整のうえ決定させていただきます。

【支援】橋梁保全技術研修協議会 参加機関

大	学：富山県立大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、愛知工業大学、中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名城大学
行 政 機 関	：国土交通省中部地方整備局、 富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 名古屋市、静岡市、浜松市
道 路 管 理 者	：愛知県道路公社、名古屋高速道路公社
民 間 業 界 団 体	：一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会 一般社団法人 日本橋梁建設協会 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中部支部
ニュー・ブリッジ事業者	：名古屋大学、中日本高速道路株式会社 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

2026年3月